

日本／ユネスコパートナーシップ事業
ESD 日本ユース・コンファレンス開催報告

(主催：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、五井平和財団)

～ユース・プラットフォーム構築に向けて～

1. 経緯

開催年月	行事名	期間
2014/02	第1回 ESD 日本ユース・コンファレンス※	1日
2014/10	ESD に関するユネスコ世界会議	事前オンライン・ディスカッション
2014/11	「ユネスコ ESD ユース・コンファレンス」	コンファレンス
2015/09		事前オンライン・ディスカッション
2015/10	第2回 ESD 日本ユース・コンファレンス※	コンファレンス
2016/01		プラットフォーム会合

2. 第1回・第2回コンファレンスの概要

開催回	目的	プログラム内容
第1回	世界会議に向けた ESD の普及・促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESD に関する認識の共有と学び合い ・ 世界会議の代表選出
第2回	ユース世代が、意見や情報の交換・発信、協働できるプラットフォームの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働プロジェクトの企画と実行 ・ プラットフォーム構築の検討 ・ 参加者主催のワークショップ開催

3. これまでの成果

- (1) ユース主体の協働プロジェクトが始動
- (2) 自主的にワークショップなどを行える、キーパーソンの発掘
- (3) Facebook や LINE、ウェブサイトなど、オンライン・プラットフォームの形成
- (4) ESD 実践者の見える化や全国各地での交流会開催など、オフラインの繋がり強化

4. 今後のビジョン

- (1) 多様な分野のユースが繋がり、同志を見つけられる場
- (2) ユネスコ活動を通じて、お互いの尊重や繋がりを感じられる「心の拠り所」となる場
- (3) ESD 実践者との勉強会やワークショップ開催など、生きた ESD を学べる場
- (4) ACCU や日ユ協、ESD-J、大学ユネスコクラブなど、ESD 推進団体との連携
- (5) 産官学民の連携を推進し、政策提言ができる場

5. 必要なサポート

- (1) ユース・プラットフォームの状況把握と、物心両面でのサポート
- (2) ユース・コンファレンスの定期的な開催など、イベントや学びの場の提供
- (3) 産官学民、他のステークホルダーや世界ユースとの橋渡し、など

ESD 日本ユース・プラットフォームのプロジェクト紹介

ESD 日本ユース・コンファレンスから生まれた、各プロジェクト概要の紹介と、一部プロジェクトの実績として、「ESD つながりマップ」と「ESD シンクタンク」の資料を紹介します。

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	進捗状況
1	ESD つながりマップ (プラットフォームづくり)	ユースのエンパワメントとチャンスの提供。ユースが力を発揮できる環境づくりが「インパクトのある重要なものだ」と多世代に伝えるツールの提供。	定期的な Skype 会議で、協業することの難しさ面白さを感じ、「シンプルプラン」を計画し実行中。実際のマップを作成した (別紙参照)。
2	ESD シンクタンク実践者あたま☆スッキー	ESD の課題を集約し分析することで、解決のための提案・発信をしていく。政策提言や知識連携を目指す。	参加者アンケートを取り、ESD で困難に感じることを分析し結果を具体的に報告した (別紙参照)。
3	おらが町 みんなでつくっぺし	産学官が連携して、子どもたちが地域づくりの担い手となる学習機会を創出。子どもたちが ESD 実践者に。	産学官の連携に関して、学校と企業との連携について成功事例と失敗事例を調査した。
4	ESD ユース情報局	持続可能なネットワーク作りをする。オンラインとオフラインの両方を重要視。	Facebook グループページや LINE でのネットワーク作りを実践中。支部会や同窓会を実施した。
5	日本人と日本にいる外国人が一緒になって地域で Global な学びの場をつくる	Global Online Course を活用し、日本の ESD 事例を世界に紹介。グローバルな学びの場作り。	具体的な、アクションプランを立てた。
6	勝手に表彰事務局	誰でもほめられると嬉しいもの。勝手に表彰し自然発生する人のつながりを期待。	神戸市の西村川魚店代表取締役の西村さんを表彰。つながりマップや ESD ユース情報局 Facebook に掲載していく。
7	ESD コーディネーター育成	ESD コーディネーターが、各地で学校の ESD 活動に企業や NPO をつなげ、コンソーシアムを作る。	ESD コーディネーターへのインタビューや調査をしていく。
8	学びの市場♪	多様性を認め合いながら、それぞれの持ち味を活かして、みんなにとって意味のある学び合いの場をつくる。	プラットフォーム会合後に、ピア・ラーニング・ワークショップを主催した。
9	ESD×教科教育	子どもたちが日々受ける授業での学びを大切に、学校の授業教科内で ESD を実践し、その質を高める。	それぞれの現場で、学びの場をつくってきた。「学びの市場♪」ワークショップで ESD 授業体験を開催した。